

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	東シナ海等に関する日中協議関係経費		担当部局庁	アジア大洋州局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度開始 終了時期未定		担当課室	中国・モンゴル課		課長 石川 浩司		
会計区分	一般会計		施策名	I-1 アジア大洋州地域外交				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第41条		関係する計画、 通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	本件協議は平成16年10月の第1回協議開催以来、我が国より外務省アジア大洋州局長、資源エネルギー庁長官等関係者が、中国側より外交部アジア司長をはじめとする関係者がそれぞれ出席し、東シナ海における資源開発の問題等について協議を行うもの。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	平成18年10月の安倍総理(当時)訪中以来、「戦略的互惠関係」を構築していくことで一致している日中両国の関係発展のため、問題の決着に向け一層の努力を要する東シナ海資源開発を粘り強く対話を通じて解決すると共に、幅広い分野における共通利益を拡大していくことが重要である。							
実施方法								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	3	4	4	3	2	
	執行額	4	1	1				
	執行率(%)	134%	28%	28%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	東シナ海等の問題解決のための日中協議。(注 1)		成果実績	出張人数	4人	2人	2人	2人
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	東シナ海等に関する日中協議の開催。		活動実績 (当初見込み)	回	1	1	1	— () ()
単位当たり コスト	北京出張4名 (1人あたり円/275,000)		算出根拠	中国において、東シナ海協議への出張経費:(4名:計1,150,000)				
平成 23 年度 予算 内訳 (単位: 千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	旅費	1,906	1,902	成果目標及び成果実績(注1) 成果を具体的数値で示すことは困難であるが、平成20年6月の合意成立後、中国側が同合意の実施は困難であるとする中、課長級協議及び局長級協議を開催し意見交換を行った結果、平成22年7月に第1回正式交渉の実施に至った。				
	雑役務費	800	400					
計	2,706	2,302						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	－	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p style="text-align: center;">今後も一層の経費節約に努め、目的達成にむけ協議をおこなっていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業の見直し、単価の見直しによる減		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(事業の見直し、単価の見直しによる減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

外務省
4百万円

事業総括(サブ、サブプロジ、
ロジ)



A. 出張者4名1百万

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	個人旅費(4名分)	1, 1			
計		1, 1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.出張経費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員(A)	日当/宿泊料/航空賃	0.3	—	—
2	職員(B)	日当/宿泊料/航空賃	0.3	—	—
3	職員(C)	日当/宿泊料/航空賃	0.3	—	—
4	職員(D)	日当/宿泊料/航空賃	0.3	—	—
5					
6					
7					
8					
9					
10					